

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	契約時において終末期ケアについての明確な説明、文章提示がなされていない。	文章で提示し説明することで、安心して入居生活が維持して頂ける。またここでの対応が困難な場合も情報提供、次の処遇先への手続きや搬送など家族などと協議の上、誠意をもって対応いたします。	終末期に向けた共有と支援に向け、詳細な内容について検討し文章を作成中です。	3ヶ月
2	35	さまざまな状況における災害についての想定される具体的な訓練が未実施である。	利用者、職員の健康、生命を守るための訓練、研修などを定期的実施し安心して生活して頂く。職員は、常日頃より災害時において最適な安全行動がとれるよう研鑽に努める。	年間の行事計画の中に、さまざまな状況を想定した訓練を実施する。また全体会議や勉強会などで学習を積み重ねる。	3ヶ月
3	40	夕食時間が早い。入居者の方が夜間に空腹やのどの渇きを感じているのではないか？	夕食時間の繰り下げが最大の解決策と思う。入居者の方には身体的負担、苦痛を可能な限り軽減したい。	職員のシフトも含め検討中です。現在夜間の水分補給を行っています。空腹の訴えには胃に負担をない飲食の提供を実施しています。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月